

ほつと通信

医療法人社団 真仁会の理念

私達は地域に育てられた。

患者様は家族であり、隣人であることを忘れまい。
各病院の機能を最大限に生かした質の高い医療と誠意を
尽くして住民の信頼に応え、地域への責任を果たそう。



緩和ケア病棟：憩いの間でのお茶会（初釜）

目次	南部郷厚生病院：緩和ケアとは・・・2	北日本脳神経外科病院：発症早期リハビリ・・・3
	新任医師紹介・・・3	医師事務作業補助者、消防避難訓練 他・・・4



医療法人社団 真仁会

南部郷総合病院

TEL 0250-58-6118

介護老人保健施設

愛宕の里

TEL 0250-58-6891

愛宕の里在宅介護

支援センター

TEL 0250-58-6976

病院機能評価認定病院

南部郷厚生病院

南部郷厚生病院

人工透析センター

TEL 0250-58-6111

南部郷厚生病院

緩和ケア病棟「郷和」

TEL 0250-58-6222

北日本脳神経外科病院

北日本脳神経外科病院

ガンマナイフセンター

TEL 0250-43-8444

北日本

訪問看護ステーション

TEL 0250-43-8449

ホームページも開設しております。 URL <http://www.sinjinkai.or.jp>



緩和ケアとは

南部郷厚生病院 緩和ケア病棟「郷和」
施設長 桜井 金三



さとわ

郷和は緩和ケアを専門に提供する病棟です。南部郷厚生病院とは廊下でつながっているものの、独立した建物となっています。居室は全て2階の個室となっていて、愛宕山や大蔵山が部屋から眺められます。がんの患者さんは、色々な痛みや苦しみを抱えておられることから、少しでも安らぎが感じられるように住環境に配慮して作られています。

緩和ケアとは

根本的な「治す」治療ではなく、少し前までは「対症療法」と少し蔑んだ呼び方をされていたことがありました。がんをはじめとして治癒困難な病気が増えてくるにつれて、症状を和らげることが求められるようになり、緩和ケアと呼ばれるようになったのです。身体や心、すべての痛み・苦しみに対処、手当てしていくのが緩和ケアになります。がんのほかにも治癒が困難で生命が危険にさらされる病気はたくさんありますが、健康保険の制限もあり、現在のところ緩和ケアは〈がんの緩和ケア〉に限られます。むろん将来はがん以外の病気にも広がっていくと思われます。

がんの症状とは

疼痛や呼吸困難などの身体的な痛み・苦しみだけでなく、不安・心の落ち込みなどの精神的な悩み、仕事を休むことや家庭のことなどの社会的な問題、「どうして自分が重病にならねば・・・」などのスピリチュアルな痛みなど、がん患者さんを苦しめます。

がん早期からの緩和ケア

がん早期は手術や抗がん剤など、がんそのものに向けた治療が行われますが、緩和ケアはがんを抱えることになった〈ヒト〉そのものをケアしますので、がん治療と並行して行われ、治療を支える役目をします。がん治療が困難になっても、命のある限り緩和ケアは続くことになります。

いつでもどこでも緩和ケアを

したがって、がん治療のあるところすべてで緩和ケアが行われることが求められているといえます。郷和では主に入院を中心にして、がん治療を行ったにもかかわらずがんが進行し、種々の痛み苦しんでいるかたに緩和ケアを提供しています。外来でのケアや訪問でのケアも行っていますので、緩和ケアで困難のある方についてはいつでもご相談ください。病院・診療所・介護施設と幅の広いネットワークを作っていくことが今後の課題となっています。



桜井医師と郷和スタッフ

◇郷和ご利用案内◇

全20室（個室）：診療は健康保険、高額医療費制度適応します。お気軽にご相談ください。
〒950-1765 新潟県五泉市愛宕甲2925番地2 Tel 0250-58-6222（直通）Fax 0250-58-6221

■ ■ ■ ■ ■ 新任医師紹介 ■ ■ ■ ■ ■



南部郷厚生病院 緩和ケア病棟 △トウ 武藤 テルカス 輝一

平成22年12月から南部郷厚生病院緩和ケア病棟に勤務しております。

最近は2～3の管理職を経験していますが、これまでの経歴の大半は新潟大学医学部外科学第一講座・同附属病院第一外科における教授・外科医としての職歴であります。

長年、外科医として癌患者さんの診療に当たってきた経験も生かして緩和ケアに当たりたいと思っています。よろしくお願いします。

北日本脳神経外科病院

発症早期のリハビリは、早期に！そして休まずに！！

～週7日稼働しています～

北日本脳神経外科病院のリハビリテーション科では従来、月～金曜：週5日リハビリを実施してきましたが、土・日の午前も加えて11月から週7日稼働体制となりました。

土日は作業療法士（OT）、理学療法士（PT）が交代制で行う少人数体制ではありますが、発症して間もない急性期リハビリ対象患者様を優先的に行えるようになりました。

リハビリテーションは、発症早期、早ければ発症翌日から行ないます。基本的には、病室での‘ベットサイドリハビリ’から開始し、状態に応じて、より活動的にリハビリテーション室での‘センターリハビリ’へと移行していきます。急性期リハビリはより早期に適切な時期に、そして密にリハビリを実施することが重要です。休日も休まず訓練することで、機能・能力の低下を少しでも抑えることができ、機能の維持・回復により良い影響を及ぼします。



患者様には、「土日頑張れるからいい!」という意見をいただいておりますが、もしかしたら中には逆に、「少し休ませてよ!」と思っておられる方もいるかもしれません。

今後も、急性期のみならず回復期そして維持期に亘り退院までの間、患者様の機能・能力を最大限に引き出せるよう、リハビリテーション科一同、役割を十分に捉えていきたいと思っています。

●●●●●●●●●● 北日本脳神経外科病院 リハビリテーション科 科長 中村 久美子 ●●●●●●●●●●



リハビリテーション科スタッフ



第2回 医師事務作業補助者 合同基本研修会開催

病院に勤務する医師の負担軽減のため、医師事務作業補助者の配置が全国の病院で推進されています。

医師が本来の業務である医療行為に専念してもらえるように、文書作成補助、代行入力、院内ガン登録等、事務作業を補助する事務員を養成しています。研修の基準は規則により厳しく規定されており、6ヶ月の研修期間内に32時間以上の基本研修（医師法、薬事法、個人情報保護に関する事項、医療内容、用語、診療録等の記載、オーダーリングシステム、電子カルテ等）を行います。

今回は県内19病院に勤務する事務員さんと合同で、基本研修会を新潟市内会場で土曜日に4回行いました。篠川院長（南部郷総合病院）をはじめ各先生方、事務長にも講義を担当して頂き、計35名の事務員さんが基本研修を終了し、それぞれの病院に戻り医師事務補助業務や日常業務に励んでいます。



「篠川院長による外科系の講義」



真仁会からも4名が参加し、これまでに8名が研修を終了しています。今後も、医師、医療関係職員と役割分担を明確にし連携しながら、より良い医療を提供できる環境づくりのため頑張ります。

医療法人社団真仁会 医事課



BSNアイネットの会場を借りての「電子カルテ、オーダーリング」の実践

消防避難訓練実施しました 南部郷総合病院

平成22年12月2日（木）、南部郷総合病院で火災想定消防避難訓練を実施しました。同時に、災害時に拠点病院として活動できるよう、五泉市及び五泉市消防本部の協力の下、消防署に新たに導入されたエアテントも設営され、実際の災害時の活用について確認が行われました。



エアテントの設営



想定患者避難訓練の様子



消火器訓練

愛宕の里 クリスマス会

平成22年12月4日、愛宕の里でクリスマス会が開催されました。ペンライトを使ったキャンドルサービスや、職員によるダンスなど盛りだくさん。デザートにはゼリーなど生クリームをデコレーションしておいしく頂きました。

